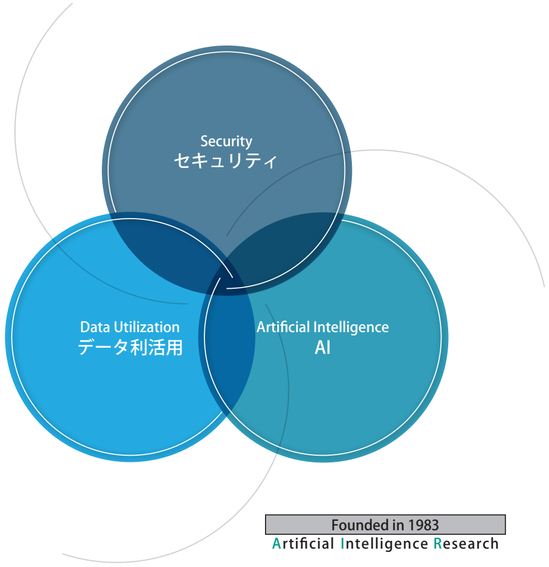
FUTURE
Something new with a sense of mission

「そこにある未来」を捉まえていく

エアーは
● **セキュリティ** ● **データ利活用** ● **AI** の３分野に注力し、
自社開発のアプリケーションや海外の先進的ソリューションを幅広く提供しています。

私たちは単なる製品販売にとどまらず、お客様の課題やニーズを深く理解し、
それらの製品に最適な付加価値を組み合わせることで、
多様なサービスを展開しています。



Founded in 1983
Artificial Intelligence Research

人工知能製品の開発・販売を
基幹事業 の一つに掲げ
Artificial Intelligence Research を
社名に冠し創業
← 創業時のシンボルマーク

Create the Wise Solution by AIR STREAM.

FUTURE
Something new
with a sense of mission

プロダクト開発部 クラウドサービスグループ
エンジニアリングサービス部 技術グループ

プロダクト開発部 クラウドサービスグループ

株式会社 エアー
〈東 京〉〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-20
TEL : 03-6773-7996
〈本 社〉〒565-0851 大阪府吹田市千里山西 5-31-20
TEL : 06-6368-6080

https://air.co.jp

Ⓒ AIR Company Limited. All Rights Reserved.
365 Alert、AnyClutch、Audit One、WISE Alert、WISE Cloud、WISE Encrypt、WISE Emotional Insight、WISE Print は、株式会社エアーの登録商標です。
WISE Audit は、株式会社日立システムズエンジニアリングサービスと株式会社エアーの登録商標です。
その他、本カタログに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
ここに記載した製品の仕様は予告なく変更する場合があります。

CP2025-12

CORPORATE PROFILE

AIR ROUTE TO THE FUTURE

未知への航路

時代のニーズに応える自社開発アプリケーション。
海外の先進的ソフトウェアの発掘と日本語環境への導入移植。
そして優れた技術力を活かした受託開発と業務アプリケーション開発。

顧客満足度の高い商品とサービスを様々なかたちで提供しています。

AIR ROUTE TO THE FUTURE



【アプリケーション開発】

1,000 万通 1 秒の高速検索大規模ユーザー実績多数の
メールアーカイブ・監査ソリューション［WISE Audit］、
専用サーバ不要のシンプルな誤送信防止 Outlook アドイン［WISE Alert］、
クラウド型のメールセキュリティサービス［WISE Cloud］、
世界初、クラウド上で日本語データを検索・ソート可能な状態で暗号化する
［WISE Encrypt］など、豊富な経験から培われた高い技術を元に、近年では AI を
取り入れた製品開発を行っています。

【プロフェッショナルサービス】

ネットワーク系などの通信インフラストラクチャ開発、
大規模システムやミッションクリティカルなシステムで使用する
データベース設計とアプリケーション開発など企業の要望をベースに
「提案型の受託開発」を実施。
さらに業務アプリケーション、新製品開発のほか、
新技術調査、技術解説書執筆も行っています。

【ディストリビュータ事業】

OpenText Analytics（OpenText 社）、
ScrewDrivers、（Tricerat 社）、
Qlik Talend（Qlick 社）、
QueryPie AIP（QueryPie AI 社）など、
海外の先進的企業とのコラボレーションを通じて、
日本企業のビジネスを支援する製品を提供しています。

●“ビッグデータ on クラウド” 分析・処理技術

今まで培った技術を集結し、Qlik Talend を用いたデジタル変革時代にふさわしい
“ビッグデータ on クラウド” 分析・処理を支援していきます。

●SQL を極めた DBMS 技術

IT の基本はデータベース。Unify 日本語版の開発から NoSQL に至る
あらゆる SQL の内部構造に熟知した技術陣が高度なデータ処理を
実現。ビッグデータ統合・解析・データマイニングにも活躍し
ています。

●UNIX に基礎づけられたサーバ技術

いち早く UNIX を取り入れ、30 年以上にわたって
UNIX/LINUX サーバ技術を蓄積。その開発力は大規模ユー
ザからも高い信頼を獲得しています。

●メールから広がったネットワーク技術

インターネット普及前からビジネスにおける電子メー
ルの発展を予測し、技術開発を推進。
メールからメールセキュリティ、クラウド
セキュリティへ開発を広げています。

パーソナルコンピュータの黎明期

1983　Artificial Intelligence Research を冠した株式会社 AIR 創業。
　　NEC PC8000 用リレーショナル DB を開発し市場に参入。

1984　米国 Unify 社と総代理店契約を締結。
　　「日本語版 Unify」の開発販売で市場をリード。

AI 第 1 次ブーム

1985　NEC-PC 9801 対応の日本語 Golden Common Lisp を
　　開発し AI 市場に参入。

UNIX 時代　オープンシステムの拡大

1987～91　米国各社との提携により
　　「Q-Calc」「XDOS」「Multiplex」など
　　各種 UNIX アプリケーションを発売。

インターネット解禁

1993　インターネットの一般への解禁と同時に先進の IMAP4、
　　MIME 対応 E-mail ソフトウェア「AIR MAIL」を自社開発、
　　販売開始。多くのファンを集める。

インターネット拡大期

1996　エンタープライズレポーティングツールのトップ企業
　　米国 Actuate 社と提携。
　　「Actuate 日本語版」を開発、発売。

1999　UNIX・DBMS・インターネットの経験を生かし、
　　大手通信事業向けサーバアプリケーションの
　　受託開発を開始。

2000　携帯電話から自社のメールをやり取りできる
　　「WISE Walker」を開発・販売。

2003　メッセージフィルタリング・アーカイブシステム
　　「WISE Audit」を開発・発売。

2004　住友電工情報システム社と
　　電子メール用高速自然言語検索システムを共同開発。

情報セキュリティのニーズ拡大

2005　DB セキュリティ製品の新進企業、Guardium 社と提携。
　　SQL 監査ソリューション「Guardium（旧 SQL Guard）」
　　の販売開始。

2008　メール誤送信防止ソリューション「WISE Attach」
　　「WISE Alert」の開発・販売開始。

2009　「CommuniGate Pro」販売開始。
　　システムソリューション事業部
　　ISO/IEC27001 認証を取得。

事業継続・コスト削減が課題化

2010　IT-ECO 商品「WISE Print」、仮想化ソリューション「Propalms」販売開始。

2011　検索可能暗号化ライブラリ「WISE Encrypt」を開発。
　　「Talend」の構築コンサルティング開始。

2012　リモートアクセスサービス「AnyClutch Remote」の販売・サービス開始。
　　「WISE Sync」、「WISE Print 印刷ログ監査」販売開始。

クラウドコンピューティング時代へ

2013　NTT ソフトウェア（現　NTT テクノクロス）、「WISE Encrypt」採用。

2014　等長暗号化（LPE）ライブラリを世界初製品化。

2015　Google Drive、Box 等に格納するファイルを暗号化するゲートウェイ型サービスを開始。
　　「WISE Alert」のサブスクリプション開始。皆さまに愛され、長く継続利用されています。

2016　NEC がグループ 15 万ユーザーで「WISE Audit」を採用。

2017　Microsoft 365 向けメール監査システム「WISE 365 Search」発売。

2018　森 剛が代表取締役社長に就任。

2019　日立製作所が 11 万ユーザーで「WISE Alert」を採用。

より付加価値の高いサービス・ソリューションを追求

2020　メール誤送信防止「365 Alert」のサービス提供開始。
　　AI・機械学習プラットフォーム「Dataiku」販売開始。

2021　AI を搭載した Microsoft 365 向けのメール監査「Audit One」の
　　サービス提供開始。

2022　「WISE Audit」のサービス版「WISE Audit as a Service」提供開始。
　　クラウド DWH「Snowflake」の構築支援サービス開始。
　　東京事業所を東京都港区虎ノ門に移転。

2023　感情分析 AI ソリューション「WISE Emotional Insight」の提供開始。

2024　Chequer Inc.（現：QueryPie AI）と日本で初めて AI プラットフォーム
　　「QueryPie（現：QueryPie AIP）」の販売
　　契約を締結、国内での製品販売およびサポート業務を開始。
　　データ統合・レプリケーションツール「Qlik Replicate」の提供
　　を開始。

2025　一般社団法人 日本経済団体連合会（経団連）に入会。

［AI プロダクト］への再挑戦

エアーは、1983年人工知能を利用したプロダクトの開発をめざし **Artificial Intelligence Research** として創業しました。
当時、LISP 言語を初めて PC 上で走らせた、米国 GOLD HILL COMPUTERS 社「Golden Common Lisp」の日本語版を開発して国内販売を行い、啓蒙活動を進めましたが、残念ながらその時代の CPU 性能では実用的な AI 製品を作ることは難しく、第 1 次ブームは去っていきました。
今、十分なマシン性能を得て、AI は再び脚光を浴びています。エアーは、Prolog と自然言語処理の研究を続けているチームの協力を得るとともに、得意とするメール分野の技術と組み合わせ、社内外にやり取りされる多くのメールの中からさまざまな“予兆”を感じ取り、警告や予測を提供する製品の開発を進めてきました。そして、AIによる日々のメールモニタリングで、効率の良い「予防監査」を実現できる製品の完成に至りました。
さらに、この技術とノウハウを SNS データやチャットアプリデータなどに拡張適用することで、より広い分野での傾向分析や未来予測に役立てていくという夢の実現に向けて進んでいます。

［AIR WAY］私たちの進む道

エアーの企業理念は「社会から尊敬される企業であり続ける」ことです。今後もつねに「信義」を重んじ、誠実に、正直に、お客様や販売パートナー様に向き合い、技術力・開発力にさらに磨きをかけるとともに、オフィス環境の「未来」をカタチにしていくことで、社会生活の向上に寄与していきます。

［OneAIR］ともなるサクセスに向けて

OneAIR という言葉には、カスタマーとともに成功し、成長し続ける企業でありたい。
その想いを胸に、社員全員が同じ方向を向いて進む姿勢を表現した言葉が「OneAIR」です。
この理念を体現するため、社外イベントや全社研修に「OneAIR」を冠しています。
イベント「OneAIR ユーザーカンファレンス」では、弊社の製品やサービスをご利用いただいているユーザー様から直接お話を伺う機会を設け、ユーザー様の忌憚ないご意見を大切にし、より良いサービスへのフィードバックと相互信頼をめざして開催しています。

ONE AIR